



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション
コード番号 6392 URL <http://www.yamadacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 昌太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,980	△3.9	602	△39.3	670	△32.2	450	△31.0
27年3月期第3四半期	7,264	8.3	991	10.3	989	7.9	652	9.5

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 474百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 830百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	37.62	—
27年3月期第3四半期	54.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	10,652	7,192	64.9
27年3月期	10,894	6,874	60.7

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 6,915百万円 27年3月期 6,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
28年3月期	—	6.00	—		
28年3月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	△5.1	770	△43.4	790	△43.0	530	△43.6	44.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成28年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	12,000,000 株	27年3月期	12,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	25,072 株	27年3月期	24,320 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	11,975,134 株	27年3月期3Q	11,976,305 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向は、米国では個人消費が好調に推移し堅調な成長が続いており、欧州も財政面に懸念はあるものの個人消費の増加を中心に緩やかな回復基調が続いております。また、中国経済の減速化、原油安など資源価格の低迷もあり新興国の景気は鈍化傾向にあるなど、世界経済全体としては緩やかな回復傾向が引き続いてはいるものの、先行きへの不透明感もさらに広がっております。

一方、日本経済においては、回復基調は続いているものの、中国などの経済減速により輸出や生産の動きに鈍化傾向が見られるなど景気の下振れも懸念されます。

こうした中、国内ではオートモティブ部門において大型自動車整備工場や消防署設備向けなどの販売が安定的に伸びた反面、インダストリアル部門の主力製品であるダイアフラムポンプの販売は伸び悩みました。また、海外ではインダストリアル部門を主体に、米国は一般産業向けへの販売は総じて好調が続きましたが、原油安やドル高の影響を受けての減少も見られ、欧州では中東やアフリカ向け輸出は増加したものの全体としては設備投資動向に力強さが見られず販売は横ばいで推移し、中国では景気減速が製造業全般に広がりをもたせており、総じて新興国向けは低調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は6,980百万円(前年同期比△283百万円、3.9%減)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は1,857百万円(前年同期比3百万円、0.2%増)、インダストリアル部門は4,131百万円(前年同期比△334百万円、7.5%減)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は991百万円(前年同期比46百万円、4.9%増)となりました。

利益面では、原材料や製商品などの仕入コストの上昇、新規設備投資・新本社関連の費用などの増加、価格競争激化による採算性の低下などにより、売上総利益は2,714百万円(前年同期比△306百万円、10.1%減)、営業利益は602百万円(前年同期比△389百万円、39.3%減)、経常利益は670百万円(前年同期比△318百万円、32.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は450百万円(前年同期比△202百万円、31.0%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は4,004百万円(前年同期比△133百万円、3.2%減)、営業利益は168百万円(前年同期比△379百万円、69.3%減)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は2,077百万円(前年同期比△93百万円、4.3%減)、営業利益は275百万円(前年同期比△0.6百万円、0.2%減)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は673百万円(前年同期比△5百万円、0.9%減)、営業利益は93百万円(前年同期比18百万円、25.3%増)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は224百万円(前年同期比△50百万円、18.3%減)、営業利益は23百万円(前年同期比△6百万円、22.1%減)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は3,432百万円(前年同期比△207百万円、5.7%減)で、その割合は49.2%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は10,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少(301百万円)、受取手形及び売掛金の減少(207百万円)、仕掛品並びに原材料及び貯蔵品の増加(235百万円)等によるものであります。

負債合計は3,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ560百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少(181百万円)、長期借入金の減少(128百万円)、支払手形及び買掛金の減少(107百万円)、賞与引当金の減少(99百万円)等によるものであります。

純資産合計は7,192百万円となり、前連結会計年度末に比べ318百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(294百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ311百万円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは204百万円の純収入(前年同期は554百万円の純収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益668百万円、減価償却費286百万円等の収入要因があったものの、法人税等の支払額477百万円、たな卸資産の増加238百万円等の支出要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは243百万円の純支出(前年同期は195百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による242百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは274百万円の純支出(前年同期は145百万円の純支出)となりました。これは主に短期借入金の増加305百万円等の収入要因があったものの、長短借入金の返済による419百万円、配当金の支払いによる135百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、第3四半期業績を勘案し、予想数値を修正いたしました。本日(平成28年2月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,792,528	2,491,065
受取手形及び売掛金	1,734,978	1,527,896
有価証券	50,825	50,837
商品及び製品	1,414,379	1,421,072
仕掛品	273,947	361,810
原材料及び貯蔵品	387,134	534,843
繰延税金資産	182,594	143,366
その他	158,840	297,839
貸倒引当金	△7,708	△8,785
流動資産合計	6,987,521	6,819,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,665,221	1,594,926
土地	1,194,666	1,195,513
その他（純額）	588,872	602,635
有形固定資産合計	3,448,759	3,393,075
無形固定資産	37,751	10,182
投資その他の資産	420,682	429,315
固定資産合計	3,907,193	3,832,574
資産合計	10,894,715	10,652,520
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,521,294	1,414,152
短期借入金	98,000	113,000
1年内返済予定の長期借入金	298,329	275,540
未払法人税等	204,199	22,358
賞与引当金	131,257	32,195
未払費用	136,452	145,343
その他	180,751	166,668
流動負債合計	2,570,284	2,169,259
固定負債		
長期借入金	645,881	540,054
繰延税金負債	244,279	228,205
退職給付に係る負債	416,062	407,232
資産除去債務	20,349	20,349
長期未払金	43,200	32,270
その他	80,327	62,773
固定負債合計	1,450,100	1,290,884
負債合計	4,020,384	3,460,144

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	5,686,177	5,980,949
自己株式	△5,144	△5,435
株主資本合計	6,339,220	6,633,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,822	116,757
為替換算調整勘定	161,968	165,130
その他の包括利益累計額合計	270,791	281,887
非支配株主持分	264,319	276,788
純資産合計	6,874,330	7,192,375
負債純資産合計	10,894,715	10,652,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	7,264,170	6,980,462
売上原価	4,243,458	4,266,035
売上総利益	3,020,711	2,714,427
販売費及び一般管理費	2,028,712	2,112,027
営業利益	991,999	602,399
営業外収益		
受取利息	1,804	1,246
受取配当金	8,649	10,614
負ののれん償却額	3,668	3,668
為替差益	—	42,535
その他	24,582	34,563
営業外収益合計	38,705	92,628
営業外費用		
支払利息	12,383	10,591
売上割引	10,230	9,792
為替差損	18,065	—
その他	714	4,261
営業外費用合計	41,393	24,645
経常利益	989,310	670,382
特別利益		
固定資産売却益	12,748	727
投資有価証券売却益	9,044	—
特別利益合計	21,793	727
特別損失		
固定資産処分損	1,657	2,530
特別損失合計	1,657	2,530
税金等調整前四半期純利益	1,009,446	668,579
法人税、住民税及び事業税	350,675	182,012
法人税等調整額	7,677	23,646
法人税等合計	358,352	205,659
四半期純利益	651,093	462,920
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,450	12,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	652,544	450,451

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	651,093	462,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,793	7,934
為替換算調整勘定	177,171	3,161
その他の包括利益合計	178,965	11,095
四半期包括利益	830,059	474,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	831,509	461,547
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,450	12,469

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,009,446	668,579
減価償却費	189,681	286,761
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
受取利息及び受取配当金	△10,453	△11,860
支払利息	12,383	10,591
売上債権の増減額(△は増加)	138,075	206,651
たな卸資産の増減額(△は増加)	74,740	△238,375
仕入債務の増減額(△は減少)	△160,378	△81,117
その他	△116,318	△156,503
小計	1,133,506	681,058
利息及び配当金の受取額	10,453	11,860
利息の支払額	△12,149	△10,521
法人税等の支払額	△576,933	△477,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	554,877	204,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,004	△11,005
定期預金の払戻による収入	1,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△296,009	△242,451
有形固定資産の売却による収入	37,371	10,377
投資有価証券の取得による支出	△1,768	△2,025
投資有価証券の売却による収入	65,021	—
その他	△327	974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,717	△243,128
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	245,000	305,000
短期借入金の返済による支出	△242,000	△290,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△401,877	△129,101
配当金の支払額	△123,539	△135,963
その他	△23,139	△24,809
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,556	△274,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	66,337	1,909
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	279,940	△311,455
現金及び現金同等物の期首残高	2,442,526	2,822,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,722,467	2,511,183

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	オランダ	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	4,137,611	2,171,818	679,837	274,902	7,264,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,367,706	85,095	8,150	—	1,460,952
計	5,505,318	2,256,914	687,987	274,902	8,725,122
セグメント利益	548,157	276,499	74,290	30,660	929,608

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	929,608
セグメント間取引消去	126,928
棚卸資産の調整額	△64,537
四半期連結損益計算書の営業利益	991,999

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	オランダ	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	4,004,180	2,077,836	673,926	224,518	6,980,462
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,404,768	51,012	5,287	—	1,461,068
計	5,408,948	2,128,849	679,214	224,518	8,441,530
セグメント利益	168,351	275,861	93,089	23,874	561,178

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	561,178
セグメント間取引消去	△346
棚卸資産の調整額	41,566
四半期連結損益計算書の営業利益	602,399